

第三回実行委員会報告

四月九日、中央大学会館で、柿崎、高橋（明）、長谷川、高山

（以上関東地区）菅野（東北地区）の実行委員と事務局から島崎、

吉沢、三本松が参加し、第三回実行委員会を開催しました。

一、まず、各地区の研究会について、別掲のように東北、関東各地区で実施されることが報告され了承されました。

二、講演会については日時、会場は前号でお知らせしたように、十月十六日（土）午後、東北大學で実施することが確認されました。時間については東北新幹線の時刻表が発表されてから最終的に決めることにいたしました。講師については、中村吉治会員、福武直会員、喜多野両会員はご都合が悪く応諾いただけなかつたので、小池基之会員（交渉中）となります。

三、座談会は、前回の決定にしたがい交渉する過程で、もう一度委員会で検討する必要が生じ、再度、記念事業としての意義など検討いたしました。その結果、三十周年という節目に、村研結成の問題意識やその後の変化など世代継承という意味でも開催するこどが有意義であるとの結論に達し、六月上旬（六月五日を予定）に、東京で開催することで準備することになりました。座談会の

出席者は次の方を予定し、実行委員が交渉することになりました。

喜多野清一会員、内山政照会員、中村吉治会員、余田博通会員、

小池基之会員、福武直会員の六名、司会は高山、安原両実行委員がおこなうことになりました。

四、村研三十周年にちなんで、村研会員の感想文を求め、「研究通信」に掲載する予定で、すでに事務局で依頼文を発送していますが、現在のところ、数名しか投稿がありませんので、実行委員会から寄稿方をお願いすることになりました。

五、三十周年記念大会は座談会、講演会などの事業があり、通常大會以上に支出が予定されるので、特別事業予算を計上する必要があると考えられます。そこで、次の運営委員会に特別事業予算案を提出することになりました。

六、実行委員長に柿崎京一委員を選出しました。